

イノシシの被害対策

地域で防げるイノシシの被害



イノシシの生態と特徴

生態を知って被害を防ごう

■身体能力・行動の特徴

①学習能力は高い

本来用心深い動物ですが、おいしいエサがある場所はよく覚えます。無意識の餌付けは被害をエスカレートさせます。

②植物中心の雑食

雑食性で、ミミズやコガネムシの幼虫なども食べますが、植物性の食物を中心に食べます。

③持ち上げる力、潜り込む力が強い

鼻先で土を掘り起こしたり石を動かして、エサを探します。70kg程度の石を動かす力があり、柵なども下部を掘って潜り込み侵入します。

④嗅覚も視力も良い

嗅覚が良い動物ですが、エサを探するときには視力にも頼ります。そのため電気柵にトタン板を組み合わせたなどの目隠しが有効です。

■生活や繁殖の特徴

①1歳半くらいで出産

メスの性成熟は1歳半頃で、年1回春に4～5頭の子供を産みます。

②母親と子供のグループで行動

通常、母親と子供を中心とした小さなグループで活動し、雄は別行動します。

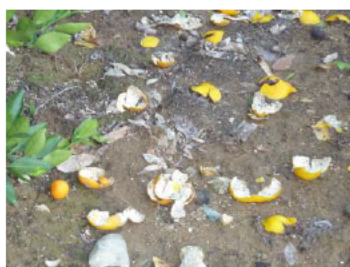
③比較的狭い縄張り

行動範囲は比較的狭く、被害を与えるものは、その農地周辺に住み着いている可能性が高いです。

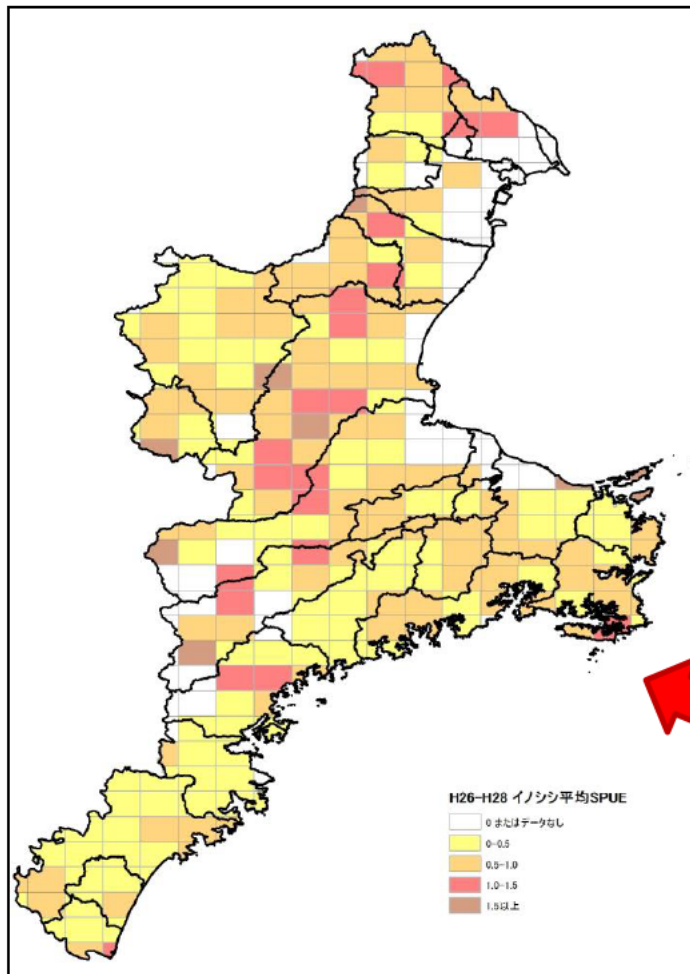


イノシシの農作物被害

食害だけでなく、収穫前の水田を踏み荒らしたり、畦を掘り返して壊すため、被害金額も高くなり、農業経営に大きな負担となります。



三重県内のイノシシの分布と農作物被害の状況



■イノシシの目撃効率 (SPUE)

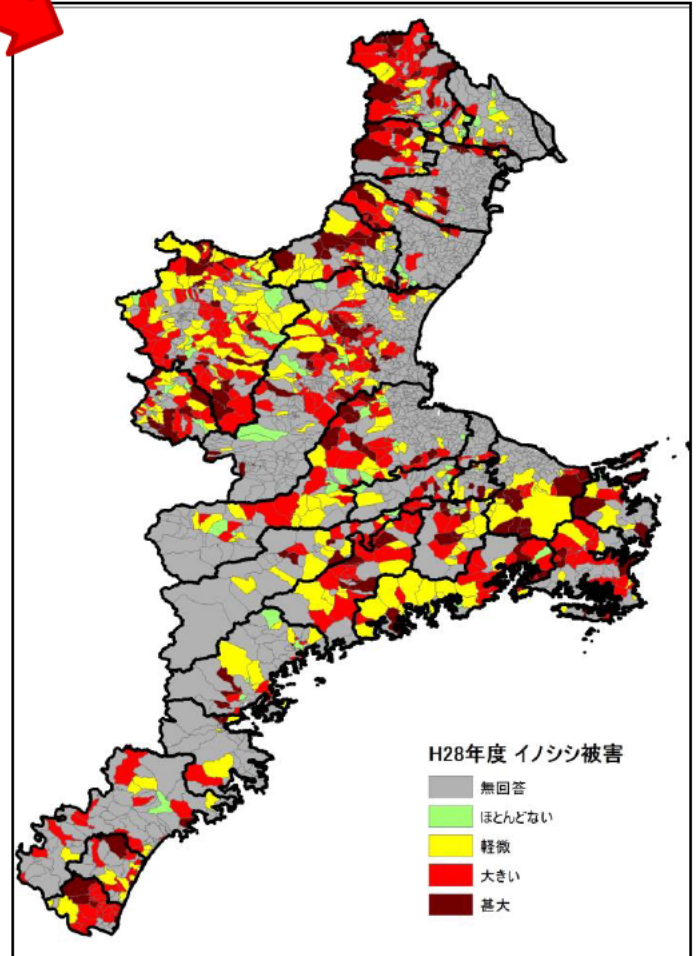
H26~28 の三重県 出猟報告データより

①イノシシの分布

出猟者の目撃効率^(注)から、鈴鹿山脈~大台山系と、県内に広く分布していることがわかります。特に、水田と山が混在する伊賀地域などで目撃効率が高く、生息密度が高いと考えられます。

目撃効率が高い地域ほど、被害が大きくなっています

注:「目撃効率」=出猟報告から算出した出猟者 1 人あたりの平均目撃頭数。密度や生息頭数の指標になります。



②イノシシの被害状況

イノシシの被害は、県内のおよそ800集落で発生しており、そのうち、その被害を「大きい」「甚大」と感じている集落は、およそ500集落あります。水田の踏み倒しなどは被害金額も大きく、営農の大きな負担となっている状況です。

■イノシシによる集落の被害状況

県内の集落代表者への
H28年度の農業被害に関するアンケート調査より

イノシシの被害対策
イノシシを寄せ付けない
集落づくりを!



- ①無意識の「エサ」をなくす → 収穫残さなどをなくす
- ②隠れ場所を減らす → 茂った藪や耕作放棄地などを減らす
- ③正しく囲う → 出来るだけ広範囲に、電気柵などを正しく設置する
- ④正しく捕獲する → 農地に出没する「犯人」のイノシシを捕獲する

①無意識の「エサ」をなくす

稲の収穫後の「ヒコバエ」（刈り株からの再生穂）や野菜などの収穫残さなど、集落には、イノシシを誘引してしまっている無意識の「エサ」が沢山あります。



ヒコバエを食べるイノシシ

②隠れ場所を減らす



イノシシの潜み場になっている竹藪



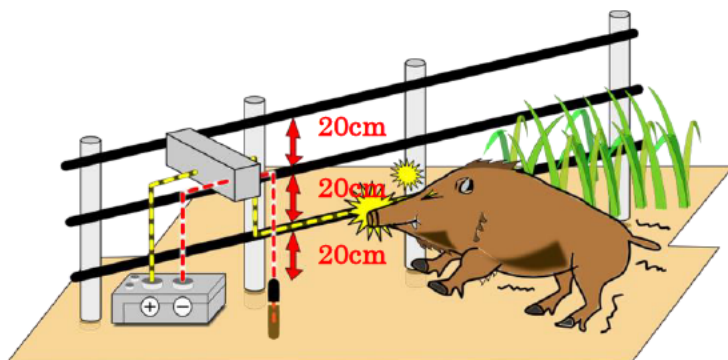
見通しの悪い藪や竹林、茂みや耕作放棄地は、イノシシが安心して集落に近づける要因になります。

③正しく囲う

柵の下部の隙間が大きいと、イノシシは潜り込みます。正しい囲い方で、出来る限り広範囲に（出来れば集落全体を）囲うと、効果が発揮できます。



電気柵の下をくぐるイノシシ

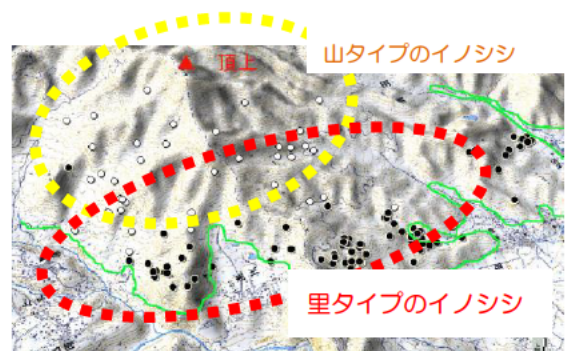


※電気柵の高さが重要

注：電気柵は、適正な設置方法で十分に安全に配慮して設置してください。

④正しく捕獲する

イノシシの行動域を調べると、山中に生息するもの（山タイプ）と、里近くに生息するもの（里タイプ）に区分できます。被害の原因は農地をエサ場としている「里タイプ」のイノシシで、これを適切に捕獲することが被害軽減に繋がります。



山梨県総合農業技術センター 本田氏 資料より

効果的なイノシシの被害対策の例 地域での取り組み例など

①集落全体を囲った事例（伊賀市小杉地区）



集落柵設置前の被害状況 ● 被害箇所とその程度



出会い作業で集落全体に柵を設置



最短距離で設置するよう、山を横断しています



集落柵設置後の被害状況
--- 柵の設置状況
● 被害箇所とその程度

集落全体（約 12 km）をワイヤーメッシュで囲むことで、集落全体のイノシシ被害が抑えられました。

②囲いの工夫の一例



電気柵と目隠しのトタン板の組み合わせで、効果を高めています。



潜り込み防止のため、用水路にも電気線を張っています。

③隠れ場所をなくす取り組み



クズなどが茂っていた荒地を伐採することで、イノシシの隠れ場所を減らしました。

④適切に捕獲する技術

檻で捕獲する場合、何よりも大切なのは、しっかりと餌付けすることです。



撮影：株式会社アイ・エス・イー

